

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公表番号】特表 2019-533662 (P2019-533662A)

【公表日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)

【年通号数】公開・登録公報 2019-047

【出願番号】特願 2019-518488 (P2019-518488)

【国際特許分類】

A 0 1 N 43/50 (2006.01)

A 0 1 N 25/32 (2006.01)

A 0 1 P 13/00 (2006.01)

A 0 1 N 43/40 (2006.01)

A 0 1 N 47/02 (2006.01)

【 F I 】

A 0 1 N 43/50 Q

A 0 1 N 25/32

A 0 1 P 13/00

A 0 1 N 43/40 1 0 1 Q

A 0 1 N 47/02

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 28 日 (2020.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

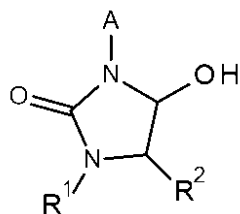
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

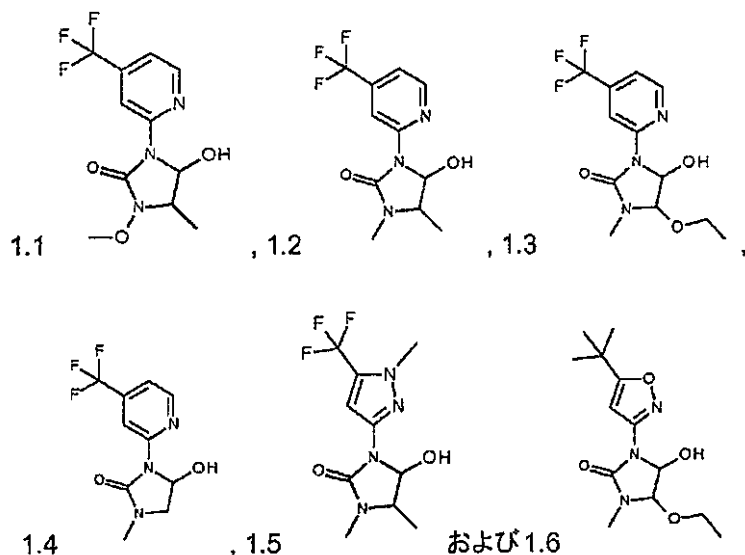
組成物であって、(A) 式 (I) の化合物：

【化 1】



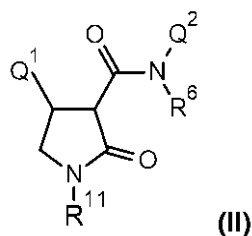
(式中、 R^1 は、メチルまたはメトキシであり、 R^2 は、水素、メチルまたはエトキシであり、Aは、置換ヘテロアリール基であり、前記化合物は、

【化 2】



からなる群から選択される) またはその N - オキシドもしくは塩形態と、
(B) 式 (I I) の 1 つまたは複数の化合物

【化 3】



(式中、

R^{11} は、H、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキルまたは $C_4 \sim C_8$ シクロアルキルであり；

R^6 は、H、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、または $C_1 \sim C_6$ アルコキシであり；

Q^1 は、フェニル、チエニル、ピリジニル、ベンゾジオキソリル、ナフチル、ナフタレニル、ベンゾフラニル、フラニル、ベンゾチオフェニル、およびピラゾリルからなる群から選択される任意選択的に置換される環系であって、置換される場合、前記環系は 1 ~ 3 つの R^4 で置換される環系であり；

Q^2 は、フェニル、ピリジニル、ベンゾジオキソリル、ピリジノン、チアダゾリル、チアゾリル、およびオキサゾリルからなる群から選択される任意選択的に置換される環系であって、置換される場合、前記環系は 1 ~ 3 つの R^5 で置換される環系であり；

各 R^4 は、独立して、ハロゲン、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルコキシ、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル、シアノ、 $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニル、 SF_5 、NH
 R^8 、1 ~ 3 つの R^7 で任意選択的に置換されるフェニル、または 1 ~ 3 つの R^7 で任意選択的に置換されるピラゾリルであり；

各 R^5 は、独立して、ハロゲン、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルコキシ、シアノ、ニトロ、 $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルフィニル、または $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニルであり；

各 R^7 は、独立して、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、ハロゲン、または $C_1 \sim C_6$ ハロアルキルであり；

R^8 は、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシカルボニルである) とを含む組成物。

【請求項 2】

R^{11} は、H または $C_1 \sim C_6$ アルキルである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

p は、1、2、または 3 である、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

n は、1、2、または 3 である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

各 R^2 は、独立して、クロロ、フルオロ、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルキル、または $C_1 \sim C_3$ ハロアルコキシである、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物。

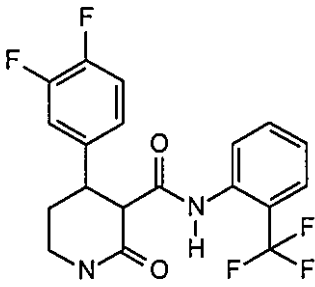
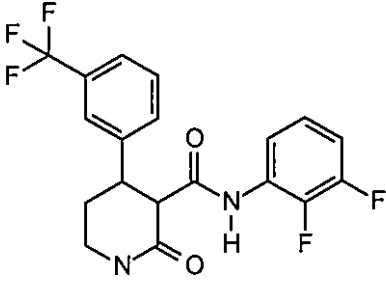
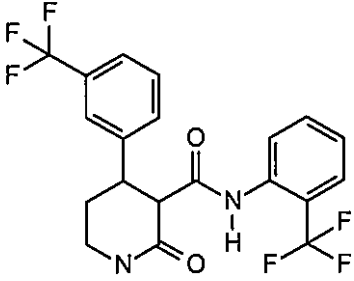
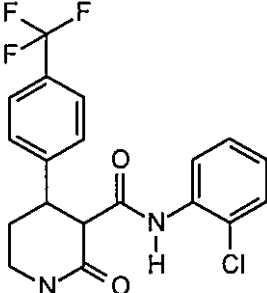
【請求項 6】

各 R^3 は、独立して、クロロ、フルオロ、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルキル、または $C_1 \sim C_3$ ハロアルコキシである、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の組成物。

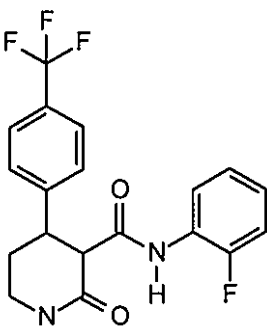
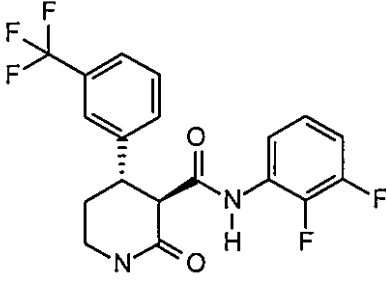
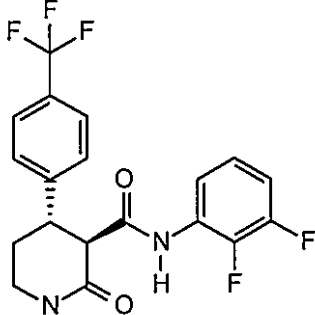
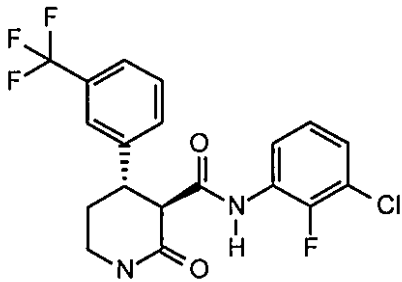
【請求項 7】

成分 B は、以下の表において定義される化合物 2 . 1、2 . 2、2 . 3、2 . 4、2 . 5、2 . 6、2 . 7、2 . 8、2 . 9、2 . 10、2 . 11、2 . 12、2 . 13、2 . 14、2 . 15、2 . 16、2 . 17、2 . 18、または 2 . 19：

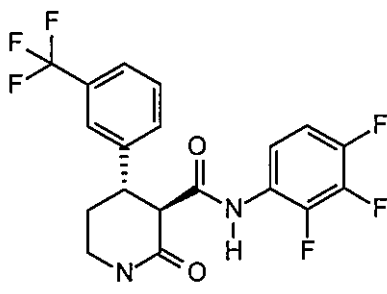
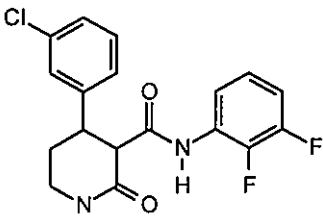
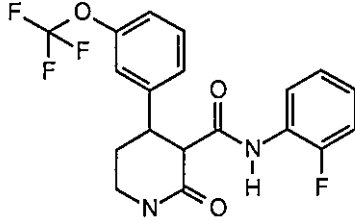
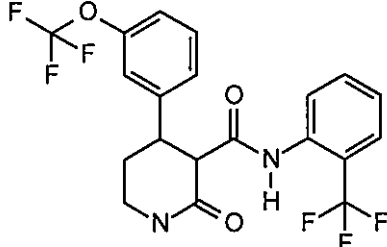
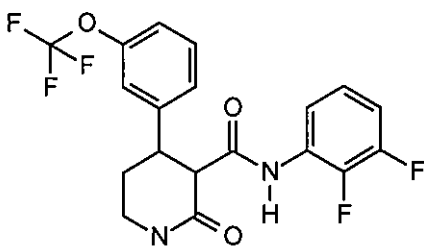
【表 1】

化合物 番号	名称	構造
2.1	4-(3,4-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-N-[2-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.2	N-(2,3-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.3	2-オキソ-N-[2-(トリフルオロメチル)フェニル]-4-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.4	N-(2-クロロフェニル)-2-オキソ-4-[4-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	

【表 2】

2.5	N-(2-フルオロフェニル)-2-オキソ-4-[4-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.6	(3R, 4S)-N-(2,3-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.7	(3R, 4S)-N-(2,3-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-4-[4-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.8	(3R, 4S)-N-(3-クロロ-2-フルオロフェニル)-2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	

【表 3】

2.9	(3R, 4S)-2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]-N-(2,3,4-トリフルオロフェニル)ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.10	4-(3-クロロフェニル)-N-(2,3-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.11	N-(2-フルオロフェニル)-2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメトキシ)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.12	2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメトキシ)フェニル]-N-[2-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.13	N-(2,3-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメトキシ)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	

【表 4】

2.14	(3R, 4S)-4-(3-クロロフェニル)-N-(2, 3-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.15	4-[3-(ジフルオロメチル)フェニル]-2-オキソ-N-(2, 3, 4-トリフルオロフェニル)ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.16	4-[3-(ジフルオロメチル)フェニル]-N-(2-フルオロフェニル)-2-オキソ-ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.17	4-[3-(ジフルオロメチル)フェニル]-N-(2, 3-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.18	(3R, 4S)-N-(2, 3-ジフルオロフェニル)-4-(4-フルオロフェニル)-1-メチル-2-オキソ-ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.19	(3R, 4S)-4-(4-フルオロフェニル)-2-オキソ-N-[2-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	

の群から選択される、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

(B) は化合物 2 . 1 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

(B) は化合物 2 . 2 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 10】

(B) は化合物 2 . 3 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 11】

(B) は化合物 2 . 4 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 12】

(B) は化合物 2 . 5 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 13】

(B) は化合物 2 . 6 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 14】

(B) は化合物 2 . 7 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 15】

(B) は化合物 2 . 8 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 16】

(B) は化合物 2 . 9 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 17】

(B) は化合物 2 . 10 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 18】

(B) は化合物 2 . 11 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 19】

(B) は化合物 2 . 12 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 20】

(B) は化合物 2 . 13 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 21】

(B) は化合物 2 . 14 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 22】

(B) は化合物 2 . 15 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 23】

(B) は化合物 2 . 16 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 24】

(B) は化合物 2 . 17 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 25】

(B) は化合物 2 . 18 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 26】

(B) は化合物 2 . 19 である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 27】

(A) は化合物 1 . 1 である、請求項 1 ~ 26 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 28】

(A) は化合物 1 . 2 である、請求項 1 ~ 26 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 29】

(A) は化合物 1 . 3 である、請求項 1 ~ 26 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 30】

(A) は化合物 1 . 4 である、請求項 1 ~ 26 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 31】

(A) は化合物 1 . 5 である、請求項 1 ~ 26 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 32】

(A) は化合物 1 . 6 である、請求項 1 ~ 26 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 33】

A D 6 7、ベノキサコール、クロキントセット - メキシル、シオメトリニル、シプロスルファミド、ジクロルミド、ジシクロノン、ジエトレート、フェンクロラゾール - エチル、フェンクロリム、フルラゾール、フルキソフェニム、フリラゾール、フリラゾーメ、イソキサジフェン - エチル、メフェンビル - ジエチル、メフェネート、オキサベトリニル、ナフタル酸無水物、T I - 3 5、N - イソプロピル - 4 - (2 - メトキシ - ベンゾイルスルファモイル) - ベンズアミドおよび N - (2 - メトキシベンゾイル) - 4 - [(メチルアミノカルボニル) アミノ] ベンゼンスルホンアミドからなる群から選択される 1 種または複数種の毒性緩和剤をさらに含む、請求項 1 ~ 3 2 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 34】

植物を防除する方法であって、前記植物または前記植物の生育地に、除草に有効な量の請求項 1 ~ 3 3 のいずれか一項に記載の組成物を適用するステップを含む方法。

【請求項 35】

植物の成長を阻害する方法であって、前記植物またはその生育地に、除草に有効な量の請求項 1 ~ 3 3 のいずれか一項に記載の組成物を適用するステップを含む方法。

【請求項 36】

有用な植物の作物における雑草を防除する方法であって、前記雑草もしくは前記雑草の生育地に、または、前記有用な植物もしくは前記有用な植物の生育地に、除草に有効な量の請求項 1 ~ 3 3 のいずれか一項に記載の組成物を適用するステップを含む方法。

【請求項 37】

有用な植物の作物における草および / または雑草を選択的に防除する方法であって、前記有用な植物もしくはその生育地に、または、栽培範囲に、除草に有効な量の請求項 1 ~ 3 3 のいずれか一項に記載の組成物を適用するステップを含む方法。

【請求項 38】

成分 (A) が、300 ~ 500 g a . i / h a の割合で適用される、請求項 3 4 ~ 3 7 のいずれか一項に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0127

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0127】

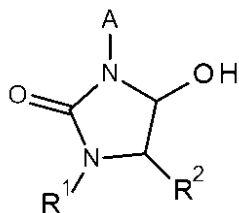
実施例 7 b : 出芽後除草活性

多様なテスト種の種子をポット中の標準土壌に播種する。温室 (24 / 16 、昼 / 夜 ; 明時間 14 時間 ; 湿度 65 %) 中において制御された条件下で 8 日間栽培した後 (出芽後)、植物に、0.5 % Tween 20 (ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート、CAS RN 9005 - 64 - 5) を含有するアセトン / 水 (50 : 50) 溶液中のテクニカルグレードの有効成分の配合物による噴霧水溶液を噴霧する。次いで、テスト植物を、温室中において、制御された条件下 (24 / 16 、昼 / 夜 ; 明時間 14 時間 ; 湿度 65 %) で、1 日 2 回灌水して栽培する。13 日後にテストを評価する (5 = 植物に対する全損傷 ; 0 = 植物に対する損傷無し)。

本発明のまた別の態様は、以下のとおりであってもよい。

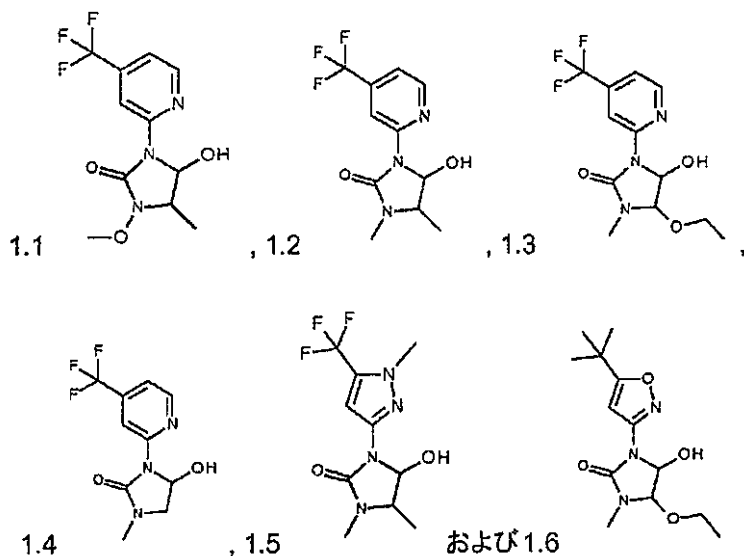
〔1〕組成物であって、(A) 式 (I) の化合物：

【化 1】



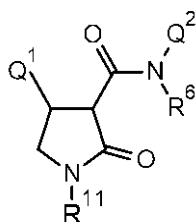
(式中、 R^1 は、メチルまたはメトキシであり、 R^2 は、水素、メチルまたはエトキシであり、 A は、置換ヘテロアリール基であり、前記化合物は、

【化 2】



からなる群から選択される)またはそのN - オキシドもしくは塩形態と、
(B)式(II)の1つまたは複数の化合物

【化 3】



(II)

(式中、

R^{11} は、H、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキルまたは $C_4 \sim C_8$ シクロアルキルであり；

R^6 は、H、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、または $C_1 \sim C_6$ アルコキシであり；

Q^1 は、フェニル、チエニル、ピリジニル、ベンゾジオキソリル、ナフチル、ナフタレニル、ベンゾフラニル、フラニル、ベンゾチオフエニル、およびピラゾリルからなる群から選択される任意選択的に置換される環系であって、置換される場合、前記環系は1～3つの R^4 で置換される環系であり；

Q^2 は、フェニル、ピリジニル、ベンゾジオキソリル、ピリジノン、チアダゾリル、チアゾリル、およびオキサゾリルからなる群から選択される任意選択的に置換される環系であって、置換される場合、前記環系は1～3つの R^5 で置換される環系であり；

各 R^4 は、独立して、ハロゲン、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルコキシ、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル、シアノ、 $C_1 \sim C_6$ アル

キルチオ、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニル、 SF_5 、 NH
 R^8 、1～3つの R^7 で任意選択的に置換されるフェニル、または1～3つの R^7 で任意選
 択的に置換されるピラゾリルであり；

各 R^5 は、独立して、ハロゲン、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_6$
 アルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルコキシ、シアノ、ニトロ、 $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ、 $C_1 \sim$
 C_6 アルキルスルフィニル、または $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニルであり；

各 R^7 は、独立して、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、ハロゲン、または $C_1 \sim C_6$ ハロアルキルであ
 り；

R^8 は、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシカルボニルである）とを含む組成物。

〔2〕 R^{11} は、Hまたは $C_1 \sim C_6$ アルキルである、前記〔1〕に記載の組成物。

〔3〕pは、1、2、または3である、前記〔1〕または〔2〕に記載の組成物。

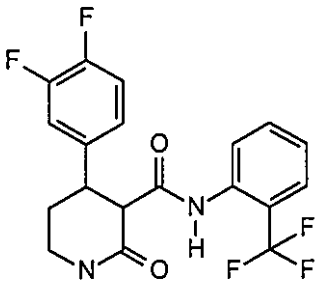
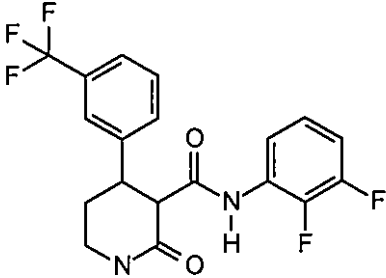
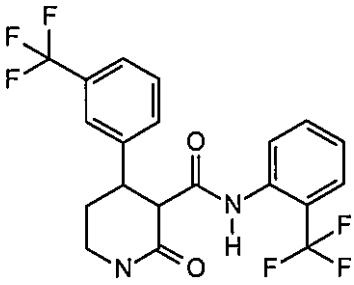
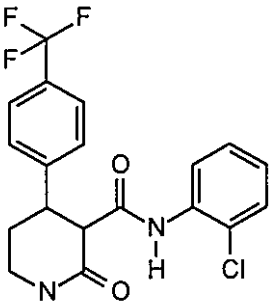
〔4〕nは、1、2、または3である、前記〔1〕～〔3〕のいずれか一項に記載の組成
 物。

〔5〕各 R^2 は、独立して、クロロ、フルオロ、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルキル、または $C_1 \sim C_3$
 ハロアルコキシである、前記〔1〕～〔4〕のいずれか一項に記載の組成物。

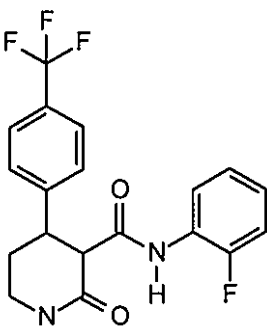
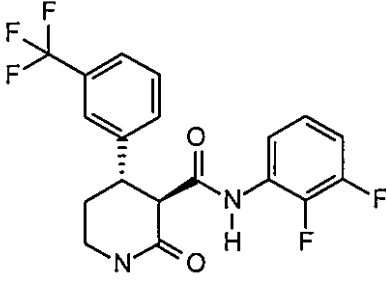
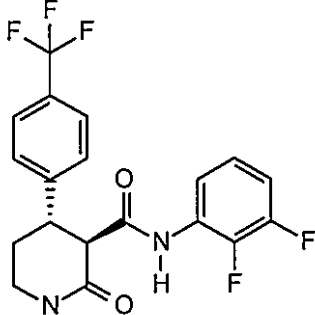
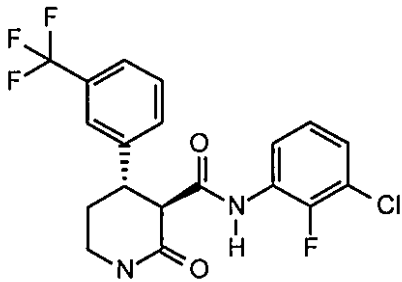
〔6〕各 R^3 は、独立して、独立して、クロロ、フルオロ、 $C_1 \sim C_3$ ハロアルキル、また
 は $C_1 \sim C_3$ ハロアルコキシである、前記〔1〕～〔5〕のいずれか一項に記載の組成物。

〔7〕成分Bは、以下の表において定義される化合物2.1、2.2、2.3、2.4、
 2.5、2.6、2.7、2.8、2.9、2.10、2.11、2.12、2.13、
 2.14、2.15、2.16、2.17、2.18、または2.19；

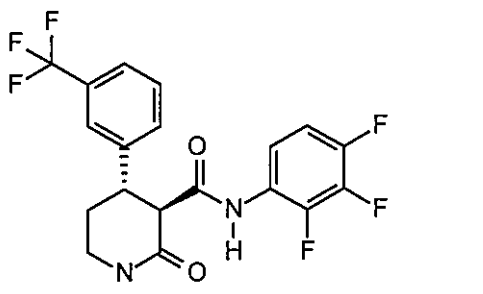
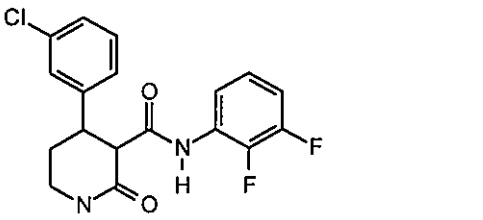
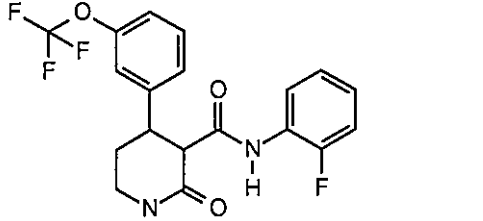
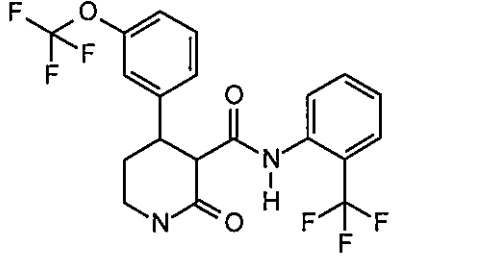
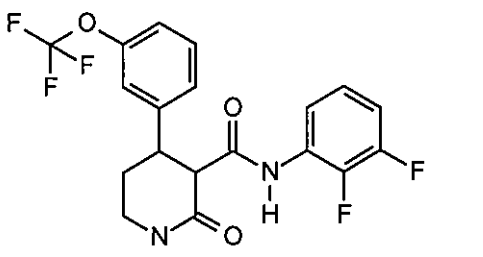
【表 1】

化合物 番号	名称	構造
2.1	4-(3,4-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-N-[2-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.2	N-(2,3-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.3	2-オキソ-N-[2-(トリフルオロメチル)フェニル]-4-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.4	N-(2-クロロフェニル)-2-オキソ-4-[4-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	

【表 2】

2.5	N-(2-フルオロフェニル)-2-オキソ-4-[4-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.6	(3R, 4S)-N-(2,3-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.7	(3R, 4S)-N-(2,3-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-4-[4-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.8	(3R, 4S)-N-(3-クロロ-2-フルオロフェニル)-2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	

【表 3】

2.9	(3R, 4S)-2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]-N-(2,3,4-トリフルオロフェニル)ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.10	4-(3-クロロフェニル)-N-(2,3-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.11	N-(2-フルオロフェニル)-2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメトキシ)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.12	2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメトキシ)フェニル]-N-[2-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	
2.13	N-(2,3-ジフルオロフェニル)-2-オキソ-4-[3-(トリフルオロメトキシ)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	

【表 4】

2. 14	(3R, 4S)-4-(3-クロロフェニル)-N-(2, 3-ジフルオロフェニル)-2-オキシ-ピペリジン-3-カルボキサミド	
2. 15	4-[3-(ジフルオロメチル)フェニル]-2-オキシ-N-(2, 3, 4-トリフルオロフェニル)ピペリジン-3-カルボキサミド	
2. 16	4-[3-(ジフルオロメチル)フェニル]-N-(2-フルオロフェニル)-2-オキシ-ピペリジン-3-カルボキサミド	
2. 17	4-[3-(ジフルオロメチル)フェニル]-N-(2, 3-ジフルオロフェニル)-2-オキシ-ピペリジン-3-カルボキサミド	
2. 18	(3R, 4S)-N-(2, 3-ジフルオロフェニル)-4-(4-フルオロフェニル)-1-メチル-2-オキシ-ピペリジン-3-カルボキサミド	
2. 19	(3R, 4S)-4-(4-フルオロフェニル)-2-オキシ-N-[2-(トリフルオロメチル)フェニル]ピペリジン-3-カルボキサミド	

の群から選択される、前記〔1〕～〔6〕のいずれか一項に記載の組成物。

- 〔 8 〕 (B) は化合物 2 . 1 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 9 〕 (B) は化合物 2 . 2 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 1 0 〕 (B) は化合物 2 . 3 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 1 1 〕 (B) は化合物 2 . 4 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 1 2 〕 (B) は化合物 2 . 5 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 1 3 〕 (B) は化合物 2 . 6 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 1 4 〕 (B) は化合物 2 . 7 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 1 5 〕 (B) は化合物 2 . 8 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 1 6 〕 (B) は化合物 2 . 9 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 1 7 〕 (B) は化合物 2 . 1 0 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 1 8 〕 (B) は化合物 2 . 1 1 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 1 9 〕 (B) は化合物 2 . 1 2 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 2 0 〕 (B) は化合物 2 . 1 3 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 2 1 〕 (B) は化合物 2 . 1 4 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 2 2 〕 (B) は化合物 2 . 1 5 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 2 3 〕 (B) は化合物 2 . 1 6 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 2 4 〕 (B) は化合物 2 . 1 7 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 2 5 〕 (B) は化合物 2 . 1 8 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 2 6 〕 (B) は化合物 2 . 1 9 である、前記〔 8 〕に記載の組成物。
- 〔 2 7 〕 (A) は化合物 1 . 1 である、前記〔 1 〕～〔 2 6 〕のいずれか一項に記載の組成物。
- 〔 2 8 〕 (A) は化合物 1 . 2 である、前記〔 1 〕～〔 2 6 〕のいずれか一項に記載の組成物。
- 〔 2 9 〕 (A) は化合物 1 . 3 である、前記〔 1 〕～〔 2 6 〕のいずれか一項に記載の組成物。
- 〔 3 0 〕 (A) は化合物 1 . 4 である、前記〔 1 〕～〔 2 6 〕のいずれか一項に記載の組成物。
- 〔 3 1 〕 (A) は化合物 1 . 5 である、前記〔 1 〕～〔 2 6 〕のいずれか一項に記載の組成物。
- 〔 3 2 〕 (A) は化合物 1 . 6 である、前記〔 1 〕～〔 2 6 〕のいずれか一項に記載の組成物。
- 〔 3 3 〕 A D 6 7、ベノキサコール、クロキントセット・メキシル、シオメトリニル、シプロスルファミド、ジクロルミド、ジシクロノン、ジエトレート、フェンクロラゾール・エチル、フェンクロリム、フルラゾール、フルキソフェニム、フリラゾール、フリラゾーメ、イソキサジフェン・エチル、メフェンピル・ジエチル、メフェネート、オキサベトリニル、ナフタル酸無水物、T I - 3 5、N - イソプロピル - 4 - (2 - メトキシ - ベンゾイルスルファモイル) - ベンズアミドおよび N - (2 - メトキシベンゾイル) - 4 - [(メチルアミノカルボニル) アミノ] ベンゼンスルホンアミドからなる群から選択される 1 種または複数種の毒性緩和剤をさらに含む、前記〔 1 〕～〔 3 2 〕のいずれか一項に記載の組成物。
- 〔 3 4 〕 植物を防除する方法であって、前記植物または前記植物の生育地に、除草に有効な量の前記〔 1 〕～〔 3 3 〕のいずれか一項に記載の組成物を適用するステップを含む方法。
- 〔 3 5 〕 植物の成長を阻害する方法であって、前記植物またはその生育地に、除草に有効な量の前記〔 1 〕～〔 3 3 〕のいずれか一項に記載の組成物を適用するステップを含む方法。
- 〔 3 6 〕 有用な植物の作物における雑草を防除する方法であって、前記雑草もしくは前記雑草の生育地に、または、前記有用な植物もしくは前記有用な植物の生育地に、除草に有効な量の前記〔 1 〕～〔 3 3 〕のいずれか一項に記載の組成物を適用するステップを含む方法。

〔 3 7 〕 有用な植物の作物における草および／または雑草を選択的に防除する方法であって、前記有用な植物もしくはその生育地に、または、栽培範囲に、除草に有効な量の前記〔 1 〕～〔 3 3 〕のいずれか一項に記載の組成物を適用するステップを含む方法。

〔 3 8 〕 成分（ A ）が、 3 0 0 ～ 5 0 0 g a . i / h a の割合で適用される、前記〔 3 4 〕～〔 3 7 〕のいずれか一項に記載の方法。